

令和7年度全国学力・学習状況調査の傾向 児童生徒質問調査(小学校・中学校)

1 本年度の特徴と関連する質問

○学習習慣、学習環境等

→読書活動の充実について問う質問が再掲

- ・学校の授業時間以外の読書時間 (21)
- ・読書は好きか (24)

○豊かな体験活動の充実

→「地域や社会に関わる活動の状況等」の調査項目において、2問の質問が再掲

- ・自然の中で遊ぶことや自然観察の経験の有無 (25)
- ・地域の大人に勉強・スポーツ・体験活動に関わってもらった経験の有無 (26)

○GIGAスクール構想の推進

→TIMSS2023の結果を踏まえて、児童生徒のICTを活用する自信と学力との関係等について、よりきめ細かに把握できるような質問が新設

- ・ICT機器で文章を作成することができる (29-1)
- ・インターネットを使って情報を収集することができる (29-2)
- ・ICT機器を使って情報を整理することができる (29-3)
- ・ICT機器を使って学校のプレゼンテーションを作成することができる (29-4)

○学習に対する興味・関心や授業の理解度等

→TIMSS2023の結果を踏まえて、各教科の得意・苦手に関する意識についての質問が新設

- ・国語の勉強は得意だ (44)
- ・算数(数学)の勉強は得意だ (52)
- ・理科の勉強は得意だ (60)

→国語の学習についての質問が小学校で3問新設、中学校で4問新設

- ・児童生徒の良いところや以前よりもできるようになったこと、うまくできていないところやそのためのアドバイスを教員が伝えてくれるか (48、49)
- ・文章の構成や展開に、どのような効果があるのか根拠を明確にして考える (中50)
- ・目的に応じて説明的な文章を読み、文章と図表等を結び付けるなどして必要な情報を見付ける (小51)
- ・文章を書いた後に、読み手の立場に立って読み直し、語句の使い方や文の長さ、語順等が適切かどうかを確かめて文章を整える (中51)

→算数・数学の学習についての質問が小学校、中学校ともに2問新設、1問再掲

- ・学習したことを、普段の生活の中で活用できている (56)
- ・授業で、どのように考えたかを説明する活動を行っている (58)
- ・小数や分数の計算をするとき、工夫して計算しようとしている (小59)
- ・文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、理解することができる (中59)

→理科の学習についての質問が小学校で2問新設、6問再掲、中学校で3問新設、4問再掲

- ・授業の内容はよくわかる (62)
- ・学習したことが将来役に立つ (63)
- ・将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたい (64)
- ・学習したことや考え方が普段の生活の中で活用できている (65、中66)
- ・観察、実験をよく行う、観察や実験の結果を基に考察している (小67、小69、中68)
- ・問題に対する答えを自分で予想(仮説)を考えている (小68)
- ・観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えている (70)

○その他

→特別な配慮を必要とする児童生徒に関する質問項目を追加

- ・家では主に何語で話しているか (4)

→普段(月曜日～金曜日)、家庭における携帯電話、スマートフォン、コンピュータ等の使用に関する質問の削除

→中学校質問調査で、ランダム方式の施行(無作為に選ばれた項目に回答)

- ・ICT活用の効果に関する項目 (30-1～30-7から2項目に回答)
- ・理科に関する項目 (71-1～71-4から1項目に回答)
- ・英語に関する項目 (72-1～71-5から2項目に回答)

2 参考

→小学校は、71問で、昨年度の63問より8問増加

→中学校は、72問で、昨年度の65問より7問増加

- ・小学校、中学校ともにICT機器の活用や理科の学習に関する質問が再掲・新設されたことによる影響が大きい